

**「委託輸送に係るエネルギー消費原単位の中長期的にみた年間の低減目標設定  
(基本的考え方)」に対する意見・要望**

**検討項目①：エネルギー消費原単位の年間低減目標について**

<p>検討項目</p>	<p>一般に、委託輸送に係るエネルギー使用量の算定方法については、使用量の誤差が大きい手法（従来トンキロ法など）を選択せざるを得ない企業があることを想定すると、工場・事業場規制にならって「年間原単位1%削減」といった細かい設定が可能か、実態を踏まえた検討が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●（算定方法による）誤差の影響はどのくらいか。</li> <li>● 工場・事業場規制とのバランスをどのように図るか。</li> </ul>
<p>意見・要望</p>	<p>荷主のエネルギー使用量については、荷主の業態を勘案すると、トンキロデータから換算するという精度の低い手法も採択せざるを得ない場合もある。この時、算定値のばらつきが数十パーセント台になることも十分想定ができる。</p> <p>このような状況下において、「年間原単位1%削減」といった細かい設定を行うことは数理的な見地から見て妥当なことではないと考える。</p> <p>“工場・事業場規制とのバランス”については、そもそも算定の手法が異なるのだから、この場合勘案する必要はないのではなかろうか。</p>

**検討項目②：「エネルギー使用量と密接な関係をもつ値」を単一に設定できない場合**

<p>検討項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動実態に即した複数の原単位設定を認めるか。</li> <li>● 複数の原単位を設定した場合、目標達成の有無をどのように判断するか。</li> </ul>
<p>意見・要望</p>	<p>活動実態に即した複数の原単位設定を認めるべき。</p> <p>また、複数の原単位を設定した場合の目標達成の有無については、それぞれの原単位ごとに目標達成を評価すれば良いのではないか。</p>

### 検討項目③：既に取り組の進んでいる企業への配慮について

検討項目	● 業界平均との比較、取組開始当時の改善動向などについて情報提供できるようにすべきか。
意見・要望	取組が進めば進むほど、取組の効果が現れにくくなることが予想される。このため、既に取り組の進んでいる企業に対しては、業界平均との比較や取組開始当時の改善動向などについての情報が提供できるようにすべきである。 なお、既に取り組の進んでいる企業においては、産業界全体で改善取組を推進するために、これから取組む企業に対して、これまでの知見を提供していくことが望まれる。

### 検討項目④：目標達成状況の判定方法について

検討項目	● 企業の早期取組促進を重視して年単位とするか。改善方法や段階的採用や誤差の影響を配慮して、数年単位（中長期）で判定するか。
意見・要望	（検討項目①に対する意見案と関連して、）改善方法の段階的採用や誤差の影響に配慮して、数年単位（中長期）で判定されることが望ましい。 この場合には、検討項目①に対する意見案に記した年間原単位の削減目標数値とは異なり、具体的な数値目標を設定することが可能と考えるが、この時の目標数値については、国が一律の値を定めるのではなく、各企業の中長期的な目標やこれまでの削減の実績に応じて企業が独自に設定し、これについて判定されることが望ましい。

### 検討項目⑤：算定方法の選択に関する措置

検討項目	● 同一の算定方法を原則とするが、算定方法をより精度の高い方法に変更することは推奨し、算定方法の精度はガイドライン等で別途示すことで良いか。 ● 算定方法を変更した年度の目標達成状況はどのように判定すべきか。
意見・要望	同一の算定方法を原則とするが、算定方法をより精度の高い方法に変更することは推奨し、算定方法の精度はガイドライン等で別途示すことで良い。

### 検討項目⑥：法的措置について

検討項目	● 年間削減目標が達成されなかった場合、どのような基準で法的措置に踏み切ることが可能か。
意見・要望	なし